

# 2021年度(2022年3月期) 第3四半期決算概要について



# 目次



2021年度	第3四半期	明決算	<b>拿根</b>	要	(连	包約	吉)											
決算	概況・・・	• •	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
プラ	スチックバ	゚ッケ	·— ;	ジ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
メタ	ルパッケー	ジ	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8
部門	別売上高	• •	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10
2021年度			-															
	予想の修正	-																11
売上	高・損益	• •	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	12
2021年度	設備投資額	湏・派	或征	盾賞去	门营	复•	劯	宇	弲	冒至	Ě	ŧ	•	•	•	• •	•	14
配当予想の	修正(1/2 <sup>-</sup>	7付)		• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15



**決算概況** (単位:億円)

	2020年度 3 Q累計	2021年度 3 Q累計	前年[	司期比 増減率
売 上 高	1,355	2,008	+653	48%
営 業 利 益 (営業利益率)	149 (11%)	525 (26%)	+376	253%
経常利益率)	161 (12%)	548 (27%)	+387	240%
純 利 益※ (純利益率※)	109 (8%)	379 (19%)	+269	246%

<sup>※</sup> 親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	80.97円	280.24円
-------------	--------	---------

◎2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用



### 売上高:

半導体業界は、社会・経済におけるデジタル化の急速な進展等を背景に、パソコンやサーバーをはじめ幅広い分野において需要が大きく拡大し、自動車市場向け等において半導体の需給逼迫が顕在化するなど、旺盛な需要環境が継続。
当社グループにおいては、フリップチップタイプパッケージ、リードフレーム、セラミック静電チャックなどの売上が大きく増加し、前年同期比48%増と大幅な増収。

### 損益:

- 旺盛な需要を背景とする各製品の売上増加に伴う収益性の向上 や、為替相場において円安基調が継続したことなどにより、前 年同期比で大幅な増益。
- 売上高、各利益とも過去最高となりました。



### セグメント別売上高・経常利益

(出法, )中国)

	セグメント		2020年度 3 Q累計		2021年度 3 Q累計		
			構成比(%)		構成比(%)		
売	プラスチックパッケージ	823	(61)	1,268	(63)	54	
上高	メタルパッケージ	476	(35)	673	(34)	41	
×1	そ の 他	57	(4)	67	(3)	19	
	合 計	1,355	(100)	2,008	(100)	48	
,_			利益率(%)		利益率(%)		
経常	プラスチックパッケージ	104	(13)	385	(30)	271	
利	メタルパッケージ	57	(12)	158	(23)	178	
益 ※2	その他/調整額	1		6			
	合 計	161	(12)	548	(27)	240	

(単位:億円)					
2020年度					
	構成比(%)				
1,133	(60)				
664	(35)				
83	(5)				
1,881	(100)				
	利益率(%)				
170	(15)				
91	(14)				
4					
265	(14)				

<sup>※1</sup> 外部顧客への売上高

<sup>※2</sup> セグメント間取引調整前の経常利益



### 参考情報

(単位:億円)

			2020年度 3 Q	2021年度 3 Q	
総	資	産	2,248	2,918	
純	資	産	1,454	1,868	
自己	2 資 本 上	北率	65%	64%	

( <del>+  ±            </del>
2020年度
2,410
1,534
64%

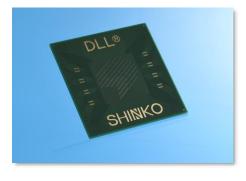
設備投資額※	260	459
減価償却費※	117	202
研究開発費	22	26
為替 レ ー ト (1米ドル)	104円	110円

301
174
30
105円

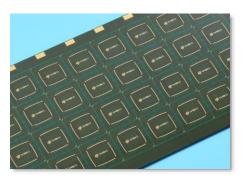
<sup>※</sup> 無形固定資産を除く



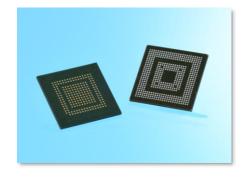
# プラスチックパッケージ



フリップチップタイプ パッケージ



プラスチックBGA基板



IC組立

### 【主な搭載製品例】

パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器 他



## プラスチックパッケージ

(単位:億円)

	2020年度3 Q累計	2021年度3 Q累計	前年同	期比
	2020年度3 (茶町	2021年反5 (茶町		増減率
売上高 (構成比)	823 (61%)	1,268 (63%)	+445	54%
経常利益 (利益率)	104 (13%)	385 (30%)	+281	271%

#### <売上高>

- フリップチップタイプパッケージは、パソコン、サーバー向けの需要拡大により売上が大幅に増加
- I C組立は、ハイエンドスマートフォン向けに受注が 大きく増加
- プラスチックBGA基板は、先端メモリーや自動車向けの受注が拡大

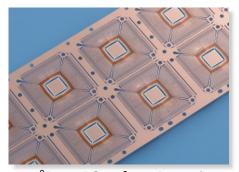
#### く損益>

フリップチップタイプパッケージの売上が高付加価値 製品をはじめ大きく増加し、為替相場において円安基 調が継続したことなどにより、大幅増益

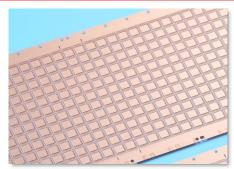








プレスリードフレーム



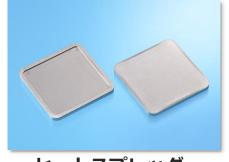
エッチングリードフレーム (QFNタイプ)



セラミック静電チャック



ガラス端子



ヒートスプレッダー

### 【主な搭載製品例】

自動車、スマートフォン、民生機器、半導体製造装置、通信機器 他



### メタルパッケージ

(単位:億円)

	2020年度3 Q累計	2021年度3 Q累計	前年同	期比
	2020年及5 Q無司	2021年及5 (無可		増減率
売上高 (構成比)	476 (35%)	673 (34%)	+197	41%
経常利益 (利益率)	57 (12%)	158 (23%)	+101	178%

#### <売上高>

- リードフレームは、自動車市場向けが好調に推移したことに加え、幅広い用途において需要が増加したことを背景に大幅な増収
- セラミック静電チャックは、引き続き半導体製造装置市場における旺盛な需要に支えられ売上が大きく増加
- ガラス端子は、光学機器向けの受注が増加
- CPU向けヒートスプレッダーは、増収

#### <損益>

リードフレーム、セラミック静電チャックの増収効果、 為替相場において円安基調が継続したことなどにより、大幅増益





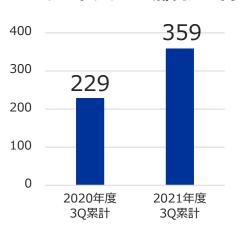
### 部門別売上高

部門	2020年度	2021年度	前年同期比		
Hr 13	3 Q累計	3 Q累計		増減率	
ICリードフレーム	229 (17%)	359 (18%)	+130	57%	
ICパッケージ	898 (66%)	1,353 (67%)	+454	51%	
気 密 部 品	226 (17%)	296 (15%)	+70	31%	

(単位:億円) 2020年度 334 (18%) 1,231 (65%) 314 (17%)

※()は構成比

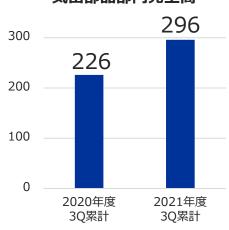
#### ICリードフレーム部門売上高



#### ICパッケージ部門売上高



#### 気密部品部門売上高



# 2021年度 通期の見通し(連結)



(単位:億円)

### 通期業績予想の修正(2022年1月27日付)

	2021年度通期			
	前回予想 (10/26)	今回予想 (1/27)	増減額	増減比
売 上 高	2,642	2,700	58	2%
営 業 利 益	594	680	86	14%
経 常 利 益	614	700	86	14%
純 利 益※	424	490	66	16%
1株当たり当期純利益	313.86円	362.72円	_	_

<sup>※</sup>親会社株主に帰属する当純利益

#### 修正理由(要旨)

- 半導体市場は、社会・経済におけるデジタル化の急速な進展等による半導体需要の拡大が継続
- 第3四半期において、フリップチップタイプパッケージはパソコンおよびサーバー向けの需要が 想定を上回り、リードフレームは自動車向け等の受注がさらに増加。また、為替相場が想定に比 べ円安基調で推移したことに加え、売上増加が収益性に寄与するとともに生産性が向上したこと などにより、特に収益面において想定を上回って進捗
- このような状況をふまえ、2021年10月26日に発表した通期連結業績予想数値を修正
- 通期業績予想の前提となる第4四半期の為替レートを1米ドル=108円から110円に変更

# 2021年度 通期の見通し(連結)



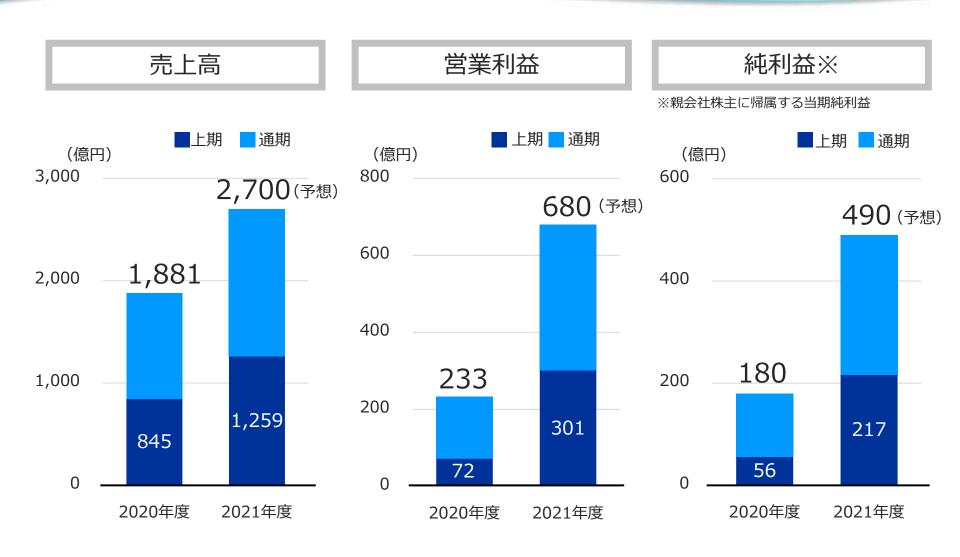
売上高・損益

(単位:億円) 2021年度 前期比 2020年度(実績) (上期実績・下期予想) (上段: 增减金額、下段: 增减比率) 上期 下期 上期 下期 通期 通期 上期 下期 通期 415 405 819 売  $\perp$ 高 845 1,036 1,881 1,259 1,441 2,700 (49%)(39%)(44%)業利 233 379 営 72 161 301 680 228 219 447 益 (9%)(16%)(12%)(24%)(26%)(25%)(315%)(136%)(191%)(営業利益率) 384 経 常 利 83 182 265 316 700 232 203 435 益 (10%)(14%)(164%)(経常利益率) (18%)(25%)(27%)(26%)(278%)(112%)純 利 益※ 56 124 180 217 273 490 161 148 310 (10%)(7%)(12%)(17%)(19%)(18%)(119%)(290%)(172%)(当期純利益率※) 第3四半期累計期間 第4四半期 為 替 レート 105円/\$ 実績 110円/\$ 想定 110円/\$

<sup>※</sup> 親会社株主に帰属する当期純利益

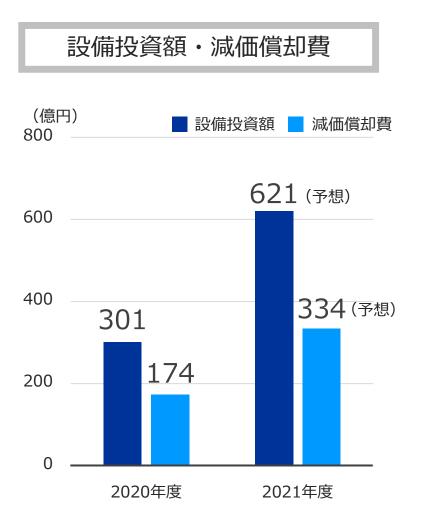
# 2021年度 通期の見通し (連結)

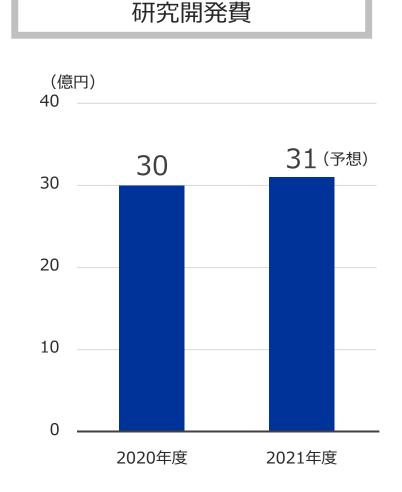




# 2021年度 設備投資額・減価償却費・研究開発費







# 配当予想の修正(2022年1月27日付)

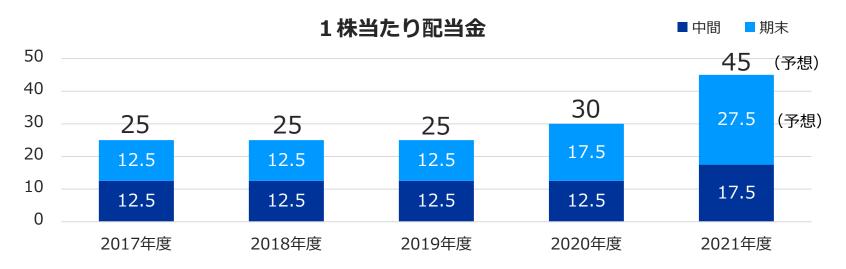


### 修正内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年 間
前回予想(2021年4月27日公表)	17円50銭	17円50銭	35円00銭
今回修正予想		27円50銭	45円00銭
当期実績	17円50銭		
(ご参考)前期実績(2021年3月期)	12円50銭	17円50銭	30円00銭

#### 修正理由 (要旨)

配当に関する基本方針のもと、2022年3月期通期連結業績予想および先般発表した成長市場向けの設備投資計画等をふまえ、期末配当予想を修正



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報および合理的と 判断する一定の前提に基づくものであり、将来の予想数値の実現を保証するものではありません。実際の 業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位にて表示しております。決算短信等で百万単位で開示しております数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。